

apo

Product for Clients

Career Power Life & Information Plaza

Powered By CareerPower

株式会社 キャリアパワー

Vol. 95

2022.10 OCTOBER

大学教育のDXが進む中、委託企業も時代の変化に合わせた研修や教育を充実させてほしい

国際教養大学

図書館長

国際教養学部教授

豊田 哲也様

東京大学法学部卒

2000年まで外務省勤務

東京大学研究員を経て

2007年より国際教養大学に勤務

2022年より図書館長



全授業の英語での実施、1年間の海外留学義務、多くの外国籍の学生と共に学ぶ多文化共生のキャンパスライフなど、それまでの日本にはなかったスタイルの大学教育を展開する国際教養大学（AIU）。居住型キャンパスには、グローバル社会のリーダーを目指して、さまざまな国籍の学生が学んでおられます。今回は、その学びの中心ともいべき中嶋記念図書館で館長を務めておられる豊田 哲也様にお話を伺いました

本

学は、「国際教養教育（リベラルアーツ）」を教育理念にかけ、グローバル社会におけるリーダー育成を目標とする大学です。2004年に秋田の地に設立され、世界で活躍するさまざまな人材を輩出してきました。

「すべて英語の少人数授業」「1年間の海外留学義務」「多文化共生のキャンパスライフ」

本学の大きな特長として、「すべての授業を英語で実施」「1年間の留学義務」「多文化共生のキャンパスライフ」の3点があげられます。1つ目の特長について

ですが、本学の授業は100%英語で行われます。これは「英語を学ぶための授業」ではなく、「英語で学び、英語で考える大学」である、という意味で、英語で知識を習得し、それを自らの言葉として発信するスキルを身につけることを目的としています。2つ目の特長である1年間の留学義務についてですが、こちらも語学留学ではなく、英語や現地言語で専門科目についての知識を深めることを目的とした「中身のある留学」です。提携校は200を超え、さまざまな地域で多様な価値観に触れながら成長することができるのが特長です。3つ目の多文化共生のキャンパスライフについては、新入生は必ず1年間、大学の敷地内にある学生寮で生活します。「今さら寮生活？」と思われる向きもあるでしょうが、日本人だけでなく、先ほど申し上げた200校の提携校からの留学生とともに、同世代の国籍もさまざまな仲間たちと一つ屋根の下で暮らすことで、社会性を養い、しなやかさやたくましさを身につけることを目的とし

ています。

こうした取り組みを評価いただき、全国各地、そして全世界から学生が集まるとともに、世界大学ランキング（Times Higher Education）では、教育充実度1位、国際性6位、総合17位と、高い評価を頂いています。

電子書籍 430,700 冊を擁するハイブリッド図書館

こうした他大学にはない特長を持つ本学の学びを支えているのが、中嶋記念図書館です。蔵書はリベラルアーツの一環として、洋書を中心に構成されており、また、紙の図書 84,000 冊に対し、電子書籍が 430,700 冊と、電子媒体が紙媒体を圧倒しているのも特色です。物理的に限られたスペースの中で配架できる図書の数は限られていますが、電子書籍や電子ジャーナルを活用することで、小さな空間の中で質の高い知的邂逅の空間を作ってゆくことが可能となっています。また、電子

書籍は、図書館に来なくとも借り出すことができ、たとえば留学先においても本学図書館の電子書籍を利用できます。

2017年より、紙の資料とデジタル資料とを横断的に検索できるサービスを導入しました。利用者が図書館の検索サービスを使うのは、何らかの特定の情報を求めてのことである場合がほとんどであり、学生にとってはその情報が紙で提供されているかデジタルで提供されているかは二義的な問題でしかありません。何らかの理由で「手に取って閲覧する」ことを必要とする場合には、検索対象を図書に限定することもできますし、逆にデジタル資料に限定することもできます。利用者の個別具体的な状況は様々ですが、紙媒体と電子媒体の両方をうまくカバーしながら、検索システムの面でも、利用者のニーズに応えていきたいと思えます。

紙の資料とデジタル資料とでは、使い方にも特性があります。ページのめくりやすさや文字の見やすさなら紙の資料が優れていますし、5冊や10冊も文献資料を並べて比較検討するのにも紙の資料が使いやすいでしょう。キーワード検索など電子資料ならではの機能もありますが、

電子資料が紙の資料に完全に取って替わるにはまだまだ時間がかかりそうです。現在はその過渡期にあり、高校までの教育が電子資料を多様する時代がくれば、新規資料の獲得は電子資料が中心となり、紙の資料の新規の獲得は、紙でしか提供されていない資料や何らかの理由で紙の方が明らかに使いやすい資料に限られていくことになることと思います。

24時間365日開館で学生の学 ぶ意欲に応える

本学図書館の大きな特長の一つとして、24時間365日開館があげられます。これは中嶋初代学長の「いつでも勉強できる場を提供したい」という強い思いにより、2004年の開学当初から実現しているものです。学生の大半がキャンパス内で共同生活を送っており、自室での勉強には制約もあるため、図書館を24時間開放することで、時間を気にすることなく勉強に集中できる環境を提供しています。実際、夜中にも利用している学生の数は結構多く、試験前などは席の大半が埋まることもあります。

コロナ禍での行動制限にも柔軟に対応

2020年からのコロナ禍において、内外の学生のキャンパス居住を前提とする本学ではコロナ対応に大いに苦慮しました。しかし、結果としてオンラインでの研究教育活動への敷居が下がり、大都市から遠く離れたキャンパスが世界とつながるとはどういうことかを考える機会ともなりました。

また、大原則として全学生に留学を義務付けている本学において、留学が不可能な状況の出現は大きなチャレンジとなりました。オンラインでの留学や留学に代替する国内での活動（インターンシップなど）を留学に代えて単位認定とするなどの措置を取りましたが、卒業時期を延期しての留学、就職を遅らせて海外の大学院への留学など、多くの学生の進路に大きな影響を与えることにもなりました。必ずしもイメージした通りの学生時代とはならなかったかも知れませんが、学生の皆さんにはこれ乗り越えて自らの道を切り拓いてほしいと心から願っています。

コロナ禍がもっとも深刻だった時期には全

ての授業がオンラインとなり、学生がキャンパスからいなくなったこともありましたが、図書館はそうした時期には図書の郵送サービスを提供するなどできる限りのサービスを提供してきました。また、電子資料の提供については、学外からのアクセスをより容易にするプログラムを導入し、利用方法をわかりやすくすることで、従前とほぼ同程度のサービスを提供することができたと考えています。

キャリアパワーさんには英語での利用者対応もお任せしています

2018年より図書館の運営をキャリアパワーさんに委託しております。地方に位置する大学ということで、司書資格を持つ優秀な人材の確保が常に課題ですが、キャリアパワーさんの組織力と職員に対する専門的な研修が整備されていることによって、スタッフの皆さんがそれぞれ能力を発揮し、図書館運営のほぼ全ての領域にわたって活躍していただいています。利用者の多くが英語話者であり、日本語を話さない教員や学生も多いのですが、カウンターや書類作成での英語対応にもご尽力いただいています。京都本社との連絡も密に取らせていただいております。定期的な、あるいは問題があればすぐ来て対応いただけることも、運営をお任せできる理由のひとつです。

大学・図書館の運営の鍵は、密接な意思疎通を通じた認識の共有

アウトソーシングすべき箇所の判断については、なかなか一般論として論じるのは難しいのですが、人材調達のアウトソーシングをア priori に排除せず、短期的・長期的な費用対効果を考えながらベストな選択をしていく必要があるかと思えます。大学では教員については、多くの科目で非常勤教員に依存しており、職員についても必ずしも常勤職員に依存する必要はないのかと考えています。

図書館の運営委託の範囲について言えば、その判断は大学によって異なると思いますが、常に契約書に立ち返って考えることが大切でしょう。まだ慣れない新人職員が配置されている場合など、大学側も受託者側も、ある程度臨機応変に、学生に最高の教育環境とサービスを提供するという共通の目標の元に協力しあって行くことが不可欠であると考えています。

そうしたさまざまな契約形態のメンバーが働いている大学や大学図書館の運営の鍵は、密接な意思疎通を通じた諸課題・諸問題についての認識を共有することだと思います。

また、大学教育のDXが進む中で図書館の業務も電子化が進んでいます。電子資料の取扱やレファレンスサービスについて、キャリアパワーさんでも時代の変化に合わせた研修や教育を充実していただきたいと思います。また、他大学での実践も踏まえながら、図書館運営のあり方について、引き続き、最先端の知見をご提供いただければと思います。



■ Information

図書館バーチャルツアー「国際教養大学中嶋記念図書館」

2022. 11/25 (金) 14:00 - 14:45 予定 お申し込み受付中

全 授業を英語で実施、一年間の海外留学義務など、秋田の地でそれまで日本になかった新しいグローバル教育を展開する国際教養大学 (AIU)。AIU の応用国際教養教育を支える「知の拠点」が、洋書を中心とした紙媒体と、43 万冊を超えるデジタル媒体を収蔵する、中嶋記念図書館です。24 時間 365 日開館、国連寄託図書館にも認定されているこの図書館の全容について、ライブ配信方式での見学ツアーを開催いたします。ライブ配信中は、ご参加の皆様から随時チャットでのご質問を受け付けます。国際教養大学のグローバル人材育成を支える中嶋記念図書館を、ぜひ体感してみてください。



 左記応募フォームよりお申込みください
<https://form.careerpower.co.jp/formmail/fms/59c2f704297>

国際教養大学中嶋記念図書館について

「本のコロセウム」をテーマに、建築家で東京工業大学名誉教授の仙田満氏によって設計された中嶋記念図書館。美しい秋田杉と伝統技術を活かした傘型屋根と、階段状に設置された開架書架が織りなす空間は、学生たちが本と向き合い、勉学に打ち込む「知の闘技場」でもあります。少人数でのグループ学習に適したオープン学習スペース(クロスラウンジ)や、LDIC (言語異文化学修センター) などの施設も充実し、未来のグローバルリーダー育成をサポートしています。

■ Information

第4回 私の図書館(本)川柳コンテスト 作品募集

キ 今年も「私の図書館(本)」川柳コンテストを開催いたします!! 新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、図書館も多大な影響を未だ受けています。ただ、本好きのみなさんはこの数年間、むしろ読書量が増えたのではないのでしょうか? 読書の楽しさや、図書館を利用できる事の便利さや喜びなど、みなさんの「本」や「図書館」にまつわる想いをぜひ川柳にしたため、お送りください。

募集期間 **2022. 9/5 (月) ~ 10/10 (祝)**

賞品 **最優秀賞 3万円分図書カード(1名様)**



応募方法や規約については裏面または左のQRコードをご確認ください。



■ Information



バックナンバーをご覧いただけます。

キャリアパワーホームページから、Capoのバックナンバーをご覧いただけます。ぜひご覧ください。

<https://www.careerpower.co.jp/capobn/>



紙版のバックナンバーもございます。ご入用の方はお申し付けください。 **TEL 075-341-2929**

■ Information

第20回京都学生祭典を応援します

2022. 10/9 (日) 11:00 START
京都平安神宮 岡崎公園一帯で開催

今年で20年目の節目を迎える京都学生祭典。この2年はコロナ禍のためバーチャルでの開催を中心に行っていましたが、今年は平安神宮、岡崎公園一帯でのリアル開催となります。キャリアパワーは第1回目からこの祭典を応援。今年もさまざまな形で協力を行っています。京都近隣にお住まいの皆様、ぜひとも当日は会場に足をお運びください。



■ Information

第2回 はたらくよろこび作文コンクール 入選作品が決定

審査 京都女子大学文学部教授 中前 正志先生

後援 京都市教育委員会

キャリアパワー主催の「はたらくよろこび作文コンクール」。第2回目となる今回も、全国から多くのご応募をいただきました。多くのご応募ありがとうございました。

京都女子大学からの総評

将来になりたい職業について、具体的に書いた作品が、最も多かったです。熱く純粋な思いが強く伝わってきたり、夢を実現するための課題を冷静に見つめているのが印象的であったり、それぞれにいいところがありました。また、はたらくことの意味などについて、懸命に考えた作品もありました。あるいは、内容的にも、作文の書き方としても、ユニークでおもしろいものも、複数ありました。このような皆さんの作文を読ませてもらって、さすががしさに包まれ、心が洗われる思いがしました。最優秀賞・優秀賞・入賞の各作品を選考するのは、とても難しく、大変迷いました。選びたいと思う作品が色々あったからです。選ばれなかった作品の中にも、選ばれた作品と同じくらいに優秀な作品もありました。選ばれた人も選ばれなかった人も、今回作文を書いたことを一つのきっかけとして、これからも、自分の未来を思いえがきつつ、はたらくことについて考えを深めていってください。

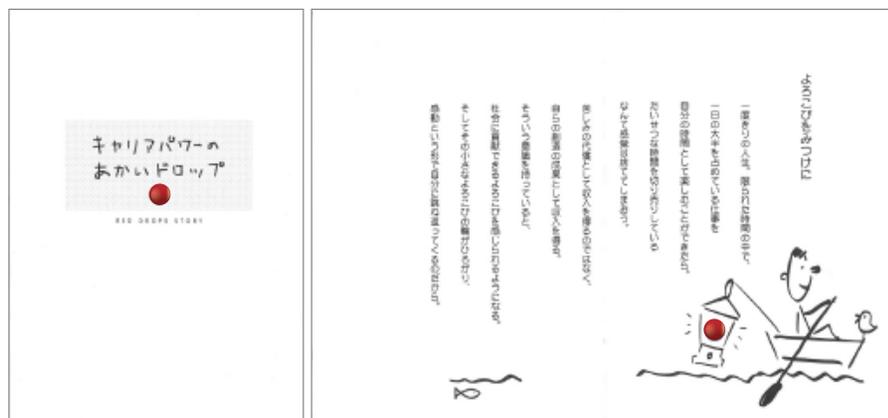


 入選作品は WEB 上で公開しております。ぜひご覧ください。

◀左記QRコードからご覧いただけます。 <https://www.careerpower.co.jp/service/wconcour2-result/>

■ Red Drops

ご存じですか？ キャリアパワーのあかいドロップ



「This We Believe...」 わたしたちキャリアパワーの信じる場所。その想いから生まれた小さな冊子が「キャリアパワーのあかいドロップ」です。出会うことができたすべてのスタッフの皆様の中に、私たちの想いをお伝えしたい。そして、一人でも多くの方の心に、その想いを留めてほしい。ずっと変わらぬ想いでお届けしています。ぜひご愛読ください。

ご希望の方に配布中です

 0120-288-450

info@careerpower.co.jp

Information

「はたらくよろこび」アンケートを実施しました

1 はたらくことは楽しいですか？



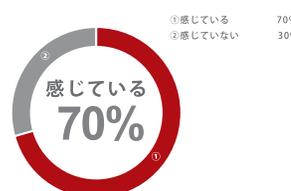
2 「楽しい」と答えた方はたらく理由は何ですか？



3 「楽しくない」と答えた方はたらく理由は何ですか？



4 今の職場ではたらくがいを感じていますか？



キ

キャリアパワーでは、当社登録スタッフおよび一般の方（無作為）を対象に、はたらくよろこびに関するアンケートを2022年8月にWEB形式で実施、1312名（男性10%、女性90%）から回答を得ました。はたらくことの意義や、職場ではたらくがいがいなどの状況をまとめています。

くわしい分析結果を右記QRコードからご覧いただけます ▶ <https://www.careerpower.co.jp/research03/>



Seminar Information

ご登録者を対象に、オンラインセミナーを定期開催しています

これまでの開催テーマ

EXCEL 講座

ショートカット、置換、COUNTIF
IF、書式設定
条件付き書式、VlookUp
グラフ作成
ピボットテーブル
マクロの基本講座
プルダウンリスト
印刷設定、ブックの保護、パスワードのかけ方
オートフィルタ（並び替えと抽出）
知っていると便利な関数
(ROUND/MAX/SUMIF など)

WORD 講座

文字入力、書式設定、印刷設定
文章レイアウト（段組み/インデント/箇条書き）
表作成、差し込み印刷

PowerPoint 講座

画面切り替え、アニメーション、スライドショー

いまさら聞けないシリーズ

Zoom（基本操作、アカウント設定）
LINE、Instagram、Twitter、YouTube
ビジネスマナー、電話応対など

毎

週火曜日と木曜日の週2回、登録スタッフの皆様に向けてオンラインセミナーを開催しております。内容は業務に関連するソフト操作などが中心。ご自身のスキルアップに、お持ちの知識のおさらいに、ぜひご活用ください。開催情報はメールにて随時お知らせ。もちろん参加無料ですのでお気軽にご参加ください。

詳細はメールでお知らせ
参加無料
ご予約不要



法令順守委員会

キャリアパワーは、労働者派遣法や労働基準法など各種労働法令を遵守し、常に適正な事業運営を果たすために、社内に法令遵守委員会を設置しています。定期的に派遣先を巡回、また社内監査を行ないながら、派遣契約内容を改めて見直し、法令の遵守が来ているかの再チェックを行なっています。また、全社員に対して法令知識向上とコンプライアンス遵守の意識強化のために、定期的に研修会や勉強会を実施し、コンプライアンスの課題解決や事前防止の徹底を図っています。遵法精神を貫くことで、当社で働く派遣労働者、そして人材派遣を利用される全ての派遣先企業様に、よりいっそう満足して頂ける様、活動を行なっております。

派遣コンプライアンスに関する問い合わせ先

TEL 075-341-2929

MAIL support@careerpower.co.jp

キャリアパワー各支社へは ☎ 0120-154-450 にお気軽にお問い合わせください

| | | | |
|----------|--|------------------|------------------|
| 東 京 | 〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-7-2 東京サンケイビル 15F | TEL 03-6895-2929 | FAX 03-6895-2911 |
| 大 阪 | 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 1-12-17 梅田スクエアビルディング2F | TEL 06-6346-2929 | FAX 06-6345-1268 |
| 名 古 屋 | 〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅 3-25-9 堀内ビル8F | TEL 052-563-2929 | FAX 052-563-3511 |
| 京 都 | 〒600-8216 京都府京都市下京区堀小路通烏丸西入東堀小路町 843-2 日本生命京都ヤサカビル4F | TEL 075-341-2929 | FAX 075-341-3828 |
| 滋 賀 | 〒525-0037 滋賀県草津市西大路町 2-5 Nビル5F | TEL 077-516-2929 | FAX 077-516-2930 |
| システムセンター | 〒600-8269 京都府京都市下京区七条通堀川西入八百屋町160 | TEL 075-344-6776 | FAX 75-344-6780 |

発行

株式会社キャリアパワー

企画 / 制作

株式会社キャリアクリエイト

2022.10.1 発行

Vol.XXI 学術機関リポジトリ

オープンアクセス推進により、Web上で閲覧できる論文が当たり前になってきました。CiNii Researchで検索したとき、**機関リポジトリ**という本文リンクボタンを目にすることも多いのではないのでしょうか？今回は機関リポジトリの関連知識を確認していきましょう。

学術機関リポジトリ (institutional repository) とは

大学や研究機関が主体となって所属研究者の知的生産物を電子的に収集・蓄積・提供するシステムおよびサービスのことです。投稿・管理・保存・検索などの機能を有し、大学などの学術機関による研究成果の情報発信機能を担うものとして活用されています。主な収集資料としては学部で発行される「紀要」や「博士論文」等が挙げられますが、他にも査読済み学術雑誌論文やプレプリント・研究成果・教材・研修報告書など多岐にわたります。商業出版社や学協会も、機関リポジトリへの学術論文セルフアーカイビングを許可する傾向があり、各大学の機関リポジトリの方針にはよりますが、紀要や学位論文などの学内成果物だけではなく、所属教員による学術雑誌掲載論文も収録していることもあります。リポジトリ業務は、大学図書館で集約して担当することが多く、図書館HPなどにもリンクが置かれています。

(参考：『図書館情報学用語辞典 第5版』)



代表的な機関リポジトリ環境提供サービス「JAIRO Cloud (ジャイロ クラウド)」

個々の機関でリポジトリを独自構築されている場合もありますが、主要なリポジトリシステムとしては、「JAIRO Cloud (ジャイロ クラウド)」があります。国立情報学研究所(以下「NII」)により2012年度から運用開始されたクラウド型の機関リポジトリ環境提供サービスで、2022年7月現在で609もの機関が利用しています。(参考：<https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/page/42>)

学術機関リポジトリデータベース「IRDB (アイアールディービー)」

各機関リポジトリに登録・提供されているデータは、それぞれのリポジトリに個別アクセスすれば検索・閲覧が可能ですが、IRDB(学術機関リポジトリデータベース：Institutional Repositories DataBase)により、網羅的な検索も可能です。IRDBは日本国内の学術機関リポジトリに登録されたコンテンツのメタデータを収集(ハーベスト)し、提供するデータベース・サービスです。ハーベストしたメタデータは、外部のシステム、CiNiiや国立国会図書館の博士論文本文の自動提出などに利用されています。機関リポジトリに登録されたコンテンツは、発行機関だけに留まらず、このように広く有効に活用されていくのです。(参考：<https://irdb.nii.ac.jp/>より)



※関連情報「DOI (Digital Object Identifier)」とは

また、CiNii Researchで検索したとき、**DOI**や**HANDL**という本文リンクボタンを見かけることもあります。DOI(デジタルオブジェクト識別子：Digital Object Identifier)は、米国出版協会(American Association of Publishers)が中心となって開発した、電子資料の恒久的な識別を可能とする永続的識別子の一つです。管理機関であるInternational DOI Foundationが発行する出版者コードと出版者が付与する文献識別コードから構成されており、当該資料のURLとの対応関係は常時データベースとして維持され、変更があってもDOIを手がかりに容易に所在が特定できます。

例えば、インターネット上の電子資料の場合、情報が掲載されているWebページのURLは、HPの更新などで階層変更されてしまうとアクセスができなくなってしまいます。そんなときでも、リポジトリでメタデータを作成する際に「DOI」を付与しておけば、**DOI**をクリック(ブラウザ等に入力)するだけで必ず該当論文データにアクセスができるのです。また、HANDL(ハンドルシステム識別子)は、米国のCNRI(Corporation for National Research Initiatives)が運営している、インターネット上に存在するデジタルオブジェクト等の資源に付与している永続的識別子になります。(参考：『図書館情報学用語辞典 第5版』)

学術情報基盤である大学図書館があつかう「学術情報」は、いわゆる「図書」紙媒体の資料ではありません。電子リソースを収集・蓄積・管理していくためのリポジトリサービス、そしてその提供を維持していくための様々な仕組みにも興味をもち、これからの大学図書館業務の理解を深めていきましょう。